

令和7年度看護管理者向け課題解決型研修 実 施 要 項

1. 趣旨と目的

解決したい組織課題を持ち、看護の目的（看護の対象者が自ら力を発揮しながら望む場所で生き、生活することを支援する）を共有している看護管理者を対象とし、所属する組織の承諾を得て取り組む出力型の研修です。

研修では、看護管理者がグループを形成し、相互に刺激し支援しあいながら、自組織や看護者自身の課題を俯瞰的に見つめなおす、ピア・コンサルテーションの機会を提供します。ピア・コンサルテーションには、看護分野の教員や経験豊富な看護管理職等がファシリテーターとなり、グループに参加して研修を支援します。そして、看護の対象者や、その家族・スタッフ看護師・看護管理者・他職種・所属組織・地域それぞれの力を発見し、それらが最もよく発揮された調和的な状態（ありたい姿・目標像）を思い描き、その目標に向かって課題を解決する方略を検討し、実行するプロセスを支援します。さらに、研修の成果とプロセスにおける看護者自身の発展を共有する機会を提供します。

この時代の変革期に、組織間を越えて自組織や自身の課題解決に自律的に取り組む意思のある看護管理者の方々のご参加をお待ちしております。

2. 研修内容・方法

研修は全てオンラインで実施します。令和7年6月24日から令和8年2月17日の期間でのグループ内討議を経て、各自が課題解決の方略を見出し、最終日に参加者全員による成果報告会を開催します。

第1回	6/24(火)	☐ オリエンテーション（9：15～9：30） ☐ グループミーティング（9：30～12：00） ・解決したい組織課題の紹介
第2回	8月頃	☐ グループミーティング（3時間程度） ・課題を解決する方略の検討
第3回	10月頃	☐ グループミーティング（3時間程度） ・目標実現に向かう実行プロセスの報告 ・実行プロセス後の方略修正
第4回	12月頃	☐ グループミーティング（3時間程度） ・取り組みの結果得られた反応や成果 ・反応や成果後の方略修正
第5回	2/17(火)	☐ 成果報告会（終日予定） ・プロセスにおける看護者自身の発展の報告

- 研修期間中に4回のグループミーティングを行い、各自10～15分程度テーマに沿った発表と、メンバー同士でのピア・コンサルテーションを行います。

- 8月～12月に実施するグループミーティングについては、グループ間で日程を確定いただきます。
- 研修期間中は、ファシリテーターによるメール、電話等による個別相談がいつでも受けられます。
- 看護実践・教育・研究共創センターがこれまでに開発したFD マザーマザーマップ®やCQI モデルが利用できます。また、オンデマンドコンテンツとしてこれまでの受講生の成果報告動画、参加いただく当該年度他グループの成果発表の概要は、受講者限定で閲覧可能です。

3. 対象者

解決したい組織課題を持ち、看護の目的を共有している看護管理者（病院、訪問看護ステーション、保健所・保健センター等の組織運営に携わる看護部門の長やその補佐を担う者
例：看護部長・副看護部長・訪問看護ステーション管理者・統括保健師・複数部署と連携して業務を行う看護師長等）

※以下のような課題を抱えている看護者にお勧めします。

（例）

抱えている課題	課題解決の方略
病院内での内服薬の服薬事故が相次ぎ、対応策の立案を迫られた。看護師の服薬管理を徹底するため、配薬カートの整備を行いたいが、どのようにそれを推進すればよいか。	病院内の服薬事故事例を改めて分析したところ、その多くは、退院後も自宅で内服を継続する高齢者であったことが判明した。配薬カートの整備ではなく、病棟薬剤師と連携して、入院時に使用する服薬アセスメントシートを作成し、入院中から退院後にも患者自身が内服管理を安全に実施できる継続した支援の仕組みづくりを行った。

5. 受講料

80,000円（消費税を含む。）

6. 定員

20名程度 ※ グループワークのため、定員を超えるご応募があった場合は、応募者調査票を総合的に勘案し、参加の可否を決定することがあります。

7. 応募方法

（1）Web申し込みとなります。

本センターホームページ（<https://www.n.chiba-u.jp/center/>）の看護管理者向け課題解決型研修申し込みフォームより、受講希望者が、**令和7年4月18日(金)まで**にお申込みください。

(2) 申込フォームに準備された、「応募者調査票(別紙1)」をダウンロードの上、必要事項をもれなく記載したファイルを所定の手順でアップロードをお願いします。

【URL】 <https://www.n.chiba-u.jp/center/training/midadmin.html>

8. 決定通知

受講の可否については、令和7年5月上旬(目安(5/9))までに、応募時に登録いただきました参加希望者のメールアドレスに「受講のご案内」とともに送付します。

9. 注意事項

- (1) 研修修了者には、千葉大学大学院看護学研究院より修了証書を授与します。
- (2) 受講料の返金はいたしません。
- (3) 大規模な地震・風水害・降雪・事件・事故・疫病等により、研修の開催が困難であると主催者が判断した場合、全てあるいは一部のプログラムを中止することがあります。
- (4) 受講者が所属する組織課題を取り扱うため、必ず自組織の所属長もしくは看護部門の長等の承諾(手続き等)を得たうえで、受講者ご本人がお申し込みください。
- (5) 同一施設から、複数名参加される事は可能ですが、同一グループになることはありません。
- (6) 本研修は各自で Teams によるオンライン・グループミーティングに参加できる方に限ります。(申込フォームで利用可能な Microsoft アカウントの入力が必須です。)

10. 個人情報の取り扱い

申込みに際し提出された「応募者調査票」等に記載の個人情報については、看護管理者向け課題解決型研修業務及びセンター年報への名簿掲載のために利用し、それ以外の目的に利用することはありません。課題解決のプロセスのデータとさせていただく場合は、別途、提供許諾を依頼いたします。

11. お問い合わせ先

(1) 研修内容に関すること

千葉大学大学院看護学研究院 講師 飯野理恵

E-mail: riino@faculty.chiba-u.jp TEL : 043-226-2463

(2) その他

亥鼻地区事務部総務課総務第三係(センター研修担当)

E-mail: kango-cqi@chiba-u.jp TEL : 043-226-2464 FAX : 043-226-2382